



PCステーションボード
KDT-DS027
取扱説明書

目次

1. 使用上・安全上の注意	P1
2. 各部の名称と機能	P2
3. 設置のしかた	P4
4. オプション品	P6
5. 推奨品	P7
6. 故障かなと思ったら...	P7
7. お手入れ	P8
8. 仕様	P8
9. 保証	P8

1. 使用上・安全上の注意（必ずお読みください）



◆ 引火性のあるものや
火の気のあるもの
そばで使用しない。

トナー、灯油・シンナー等の引火性のあるもの、火の消えていないタバコなど爆発や火災の原因になります。



◆ 絶対に分解したり、修理・
改造したりしない。

発火したり、異常動作してケガをすることがあります。
修理その他についてはご連絡ください。



◆ 電源コード、電源プラグを
破損するようなことはしない
傷つけ、加工、熱器具近接、
折曲げ、ねじり、引っ張り等

感電、ショート、火災の原因になります。
電源コード・プラグが傷んだ場合は速やかにご連絡ください。



◆ 落としたり、衝撃を与えたり
しない。

単に壊れるだけでなく、外見上問題なくても内部が壊れる可能性があります。



◆ 火気に近づけない。また、
高温多湿等極端な環境で
使用しない。

ショート、発火、感電、破損他の原因になります。

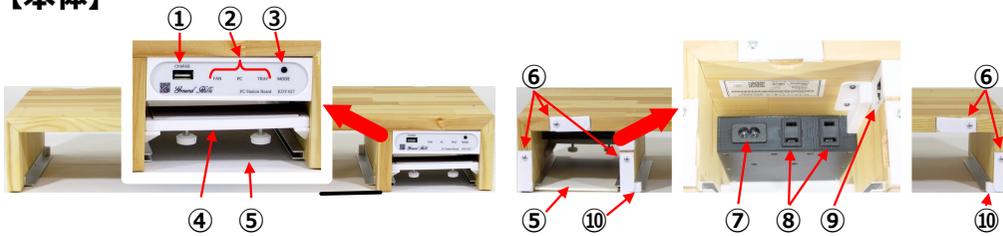


◆ 危険な操作、
使い方は絶対に
しない。

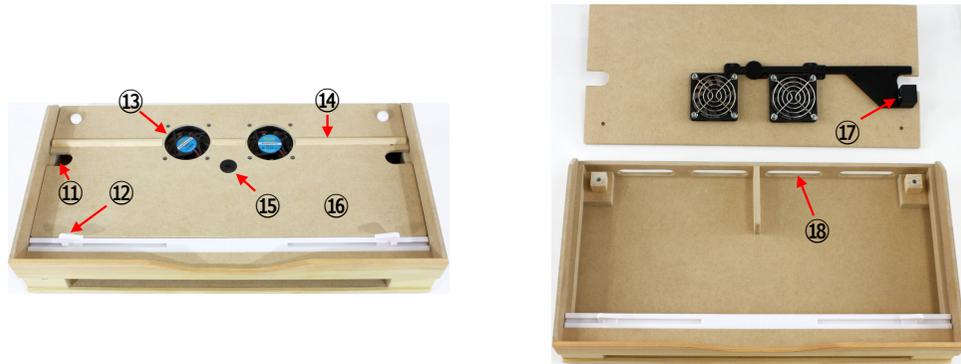
濡れた手で扱ったり、電源コードを持って引き抜く等は感電、ショート、発火の原因になります。

2. 各部の名称と機能

【本体】



【トレイ】



【付属品】



① チャージポート

スマホ等の充電用ポートです。急速充電には対応していませんのでご注意ください。

② インジケータ LED

ファン回転状態、PC 設置状態、トレイ収納状態を示します。強制動作時は、PC LED が点滅し、ファン回転で FAN LED が点灯、ファン停止で消灯します。動作モード設定時は Automode1 で FAN LED、Automode2 で PC LED、マニュアルモードで TRAY LED が点滅します。

③ プッシュスイッチ (MODE SW)

通常動作時はこのスイッチをクリックすることによりファンを強制回転もしくは強制停止することができます。長押し（4 秒以上）でモード設定となり、クリックで順に Automode1, Automode2, マニュアルモードを選択します。再度長押しでモードを決定し通常動作に戻ります。

④ ハブトレイ

ベースボード、ハブ押え、締ネジの 3 つから構成されており、ベースボードを本体にはめ込み、締ネジを使ってハブ押えを USB ハブに押さえ付けることによってしっかりと固定することができます。

⑤ サイドトレイ

AC アダプタや電源ケーブルをまとめた時に本体と一体にできる底板上で、差し込み式となっています。

⑥ ケーブルフック

ケーブルを引出し口に固定するフックです。本体後部 5 箇所には装備しています。

⑦ 電源コネクタ (メガネコネクタ)

付属の電源ケーブルを挿します。

⑧ AC アウトレット

PC およびモニターや周辺機器用等の汎用 100V 電源コンセントです。（最大 6A まで）

⑨ PC トレイ接続用コネクタ

付属の LAN コネクタを挿し、PC トレイと接続します。冷却ファン、PC 状態センサ接続用です。

⑩ トレイストップ

PC トレイが本体より奥に突き抜けないようにするストップです。センタリング機構付です。

⑪ ケーブルホール

PC トレイの上段・下段を通すケーブル用の穴です。

⑫ PC フック

PC を固定するフックです。PC は適宜左右にオフセットさせて置くことができます。

⑬ 冷却ファン

冷却ファンの上は PC のみとしてください。

⑭ PC 冷却スペーサ

PC の冷却を効率的に行うためのスペーサです。この上に PC を載せてください。

⑮ PC センサ

PC が搭載されているかどうかを検出するセンサです。真上に向いているため、日中の太陽光で PC が搭載されていると判定する場合がありますが、動作に問題ありません。

⑯ PC ボード

PC を載せる取り外し可能なボードでファンやセンサが装着されています。

⑰ PC トレイコネクタ

ステーションボード本体と LAN ケーブルによりファン、PC 搭載センサを接続するコネクタです。

⑱ リアホール

PC トレイの後部は自由にケーブルを通すことができるように全面的に穴が開いています。

⑲ 電源ケーブル

ステーションボードのコントロールボックスに挿す 100V 電源ケーブルです。

⑳ LAN ケーブル

PC トレイと本体とを接続し、冷却ファン駆動、PC 搭載センサ信号接続を行います。

3. 設置のしかた



付属品 電源アダプタ ハブ・延長コード

① Start

必要なものが揃っているかどうか確認します。付属品以外にもお客様の環境によって必要なものが変わりますのでご注意ください。この説明書では、USB Type-c ハブ、USB Type-C 延長コード、モニターは HDMI 接続を前提として進めます。なお、裏返すと作業しやすいです。

設置方法動画 (Youtube) はこちら...



② 電源セット

付属の電源コードを、PC やモニターの AC アダプタに接続します。この時、USB ハブを置いてスペースを確保しておくことをお勧めします。

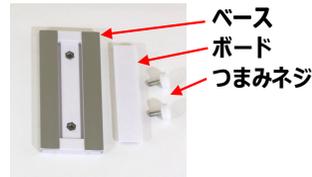


電源系接続



③ ハブ固定

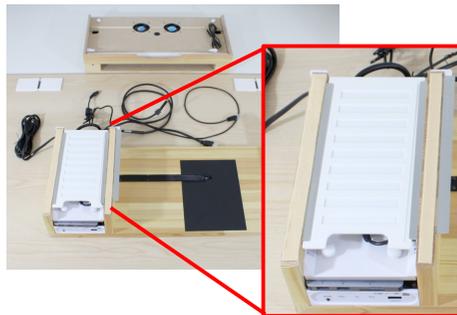
USB ハブを固定します。固定器具は、ベース、固定用ボード、つまみネジで構成されており、ControlBox と固定器具でハブを挟み込み、ネジを締めて、固定用ボードを押してつけて固定します。



ベース
ボード
つまみネジ

④ サイドトレイ差し込み

AC アダプタや USB ハブを装着した部分にサイドトレイを差し込みます。これで本体をひっくり返しても AC アダプタ等は落ちなくなるので、とても扱いやすくなります。



⑤ 本体接続終了

これで本体側の接続は終了です。裏返した本体を元に戻し、ケーブルを取り出したい位置のケーブルフックに通します。

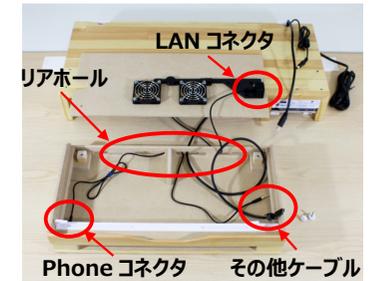
⑥ PCトレイ接続

PCトレイのPCボードを外し、LANケーブルやPhoneケーブルを接続します。その他PCトレイから外に出したいケーブルはリアホールを通して引き出しておきます。



ケーブル
接続

フック



LANコネクタ
リアホール
Phoneコネクタ
その他ケーブル

⑦ PCセット

PCボードを装着して固定ネジで止め、PCを載せます。ケーブルホールを利用して下段から上段に通し、PCを左右で適切な位置にオフセットさせ置きます。ケーブル接続後、ディスプレイを開いてフックを内側に締めしっかりと固定します。

⑧ モニター接続

モニターとの接続ケーブル（通常は電源とHDMI）を本体後部のケーブルフックを通して上に出し接続します。ケーブルが長すぎる場合は、ACアダプタを入れてある場所に束ねて入れましょう。



これで基本的な設置は完了です。お客様の環境に合わせて様々なアレンジをお楽しみください。

様々な使い方・アレンジはこちら...

<https://www.groundhills.jp/product/?p=313#feature3>



お問い合わせはこちらまで...

<https://www.groundhills.jp/productinquiry/>



4. オプション品

ステーションボードらしく、機能を拡張するオプション品も豊富に揃えています。一部を除き、ステーションボード購入後での注文も可能ですので、是非ご検討ください。



【スマホスタンド】

ステーションボードに取付け、常にスマホの画面を正対させることのできるスマホスタンドです。

- ・顔認証アプリと併用するとスマホを見た時のみメッセージ表示をさせることができ、セキュリティ状態を変更せずに作業が可能です。
- ・ホームページ等のデザイン検討を行うときに、実際のスマホでの見栄えとPCでの見栄えの両方を同時に確認しながら作業を進めることができます。



【カメラスタンド】

ステーションボードに Web カメラを取付けるカメラ台です。縦横両方から取り付けることができるので、会議や講演等において高さを確保して適度な下からのアングルを保持できます。（上方から光、少し下からのアングルで撮影すると肌の色が活気づいて撮れるとされています。）

また、寝かせて反転させると、書類や小物をホスト側とリモート側で天地逆転せずに見えるため、両方で実物をシェアして話をするときに非常に便利です。



【サイドミニトレイ】

コントロールボックス下の空間を有効に活用する小物入れです。SD カード類や Type-C 変換プラグ等小さくて無くしてしまいがちなものをまとめて置けます。手前はラウンド形状になっているので、マイクロ SD カードのようなごく小さなものでも取りやすい構造になっています。



【Phone ケーブル】

トレイ上の PC の Audio ジャックを外に引き出すケーブルです。トレイ左下の Phone ジャックと PC の Phone ジャックを接続します。通常は Bluetooth 等のワイヤレスヘッドホンを使用することが多いと思いますが、充電し忘れや故障したとき等の優先のヘッドホンは確実に使えます。



【アルミ補助パネル】

ControlBox 下をアルミのパネルに変更します。ControlBox 下部に USB ハブを付けた時、ハブによっては高温になるものがあります。アルミパネルに交換して放熱効率を高めるとともにケースの剛性も高めます。

なお、このオプションだけは発注時に指定が必要です。もし購入後に交換したい場合はお問い合わせください。

オプション品はこちら…

<https://www.groundhills.jp/product/?p313#optionList>



5. 推奨品

本ステーションボードはお客様が使われる環境に依存して必要なものが変化しますが、あると便利と思われる推奨品を紹介します。



【 USB ハブ】

ハブは電源供給とデータ通信の両方が可能で、ControlBox 下に装着可能なものをお勧めします。エレコム / パツファロー等にお勧め品があります。

【ケーブル類】

特によく使用するのには USB 延長ケーブルと HDMI ケーブルだと思います。いずれもできる限り細いものをお勧めいたします。



【 AC 電源アダプタ】

電源アダプタは注意しないと PC の電源として使えないものが多く出回っています。ホームページに具体的なアダプタを紹介しています。

【 AC 電源コード】

付属している電源コードは太くて長いものばかりで無用の長物となる場合が多いです。20cm 程度の短いものをお勧めします。

推奨品はこちら…

<https://www.groundhills.jp/product/?p=313#recommend>



6. 故障かな？と思ったら…

PC を載せていないのに載っていると判定する

PC センサは赤外線距離センサです。日中、太陽光は多くの赤外線を含んでいるため、PC が搭載されていないのに載っていると判定する場合があります。動作上は全く問題ございませんが、ファンが回ると困る場合は本体と PC トレイとの間を接続している LAN コネクタを外してください。

トレイを収納すると熱くなっていないのにファンが回る

トレイを一定時間外に出した状態から収納すると、ステーションボード内の温度を均一化するために約 90 秒程度ファンが回ります。故障ではなく正しい動作です。

トレイを収納してもファンが回らない

トレイを外に出しても一定時間内であれば、再度トレイを収納してもファンは回りません。PC の電源を投入するためのトレイを外に出し、再度収納しても無駄にファンが回らない設計となっています。

ファンが回ったり止まったりする

ファンが回り始める温度はヒステリシスを持たせていますが、ごまめにノイズ等の影響からヒス値を超える温度差が検出されてファンが回転したり停止したりする現象が発生する場合があります。暫く経過すると安定しますので、そのまま放置してください。特に故障ではございません。

お問い合わせはこちらまで…

<https://www.groundhills.jp/productinquiry/>



7. お手入れ

PCステーションボードは植物油由来の塗料・ワックスを使用しております。従って、普段は乾拭きし、半年程度に1回、植物油ワックス(ヴィンテージワックス)を塗りこむと使うほどに味が出て、使うほど美しくなっていきます。

なお、ファン、コネクタ等の電気部品については乾拭きのみとしてください。

8. 仕様

項目	仕様
電源	AC100V 50-60Hz
消費電力	200mW (ファン停止時) / 2.5W (ファン稼働時)
外形寸法 本体 トレイ	幅 610mm x 奥行 250mm x 高さ 98mm 幅 440mm x 奥行 240mm x 高さ 75mm
重量	本体 2.1kg(ハブトレイ、サイドトレイ、ケーブル類含まず) / PCトレイ 1.3kg
付属品 (オプション品として 別売り可)	電源コード、本体・トレイ接続ケーブル ハブトレイ、サイドトレイ
オプション (近日発売予定)	専用スマホスタンド ディスプレイスタンド (VESA 100mm) ワイヤレス充電器用アタッチメント

8. 保証

PCステーションボード 保証書

Ground Hills

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合に無料修理をお約束するものです。
必ずお買い上げの日付がわかる書類(同梱されている納品書等)と一緒にご提示下さい。
なお、故障が疑われる場合はまずはメールやお電話等で当社までご連絡ください。

品番	KDT-027	お客様	ご住所	
保証期間	お買い上げから 1年間		お名前	
購入日	年 月 日		電話	
			メール	

Ground Hills 株式会社 〒736-0082 広島県広島市安芸区船越南4丁目9-41